

生活科の実践

旭川市

生活科

1年

音へのこだわりから広がるおもしろさ！

音のびっくり たまてばこ

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます



生活科は、諸感覚を大切にした学習であることは言うまでもありません。

そのなかで、特に「聴覚」にこだわって学習を展開していました。「たまてばこ」から出てくる音はどこかで聴いたことがあるはずなのに、何の音なのか分からず……。そんな疑問を解決するために、身近な音を探しに行きます。

学習活動の流れ (6時間)

箱から出てくる音が何の音なのかを真剣な表情で考えていました。また、映像を見て、とても楽しそうに想像した音を口々に発表しました。

自分が探した音を聞かせるのに、その場所へ連れて行こうか、録音して聴かせようかなど考え、思い思いの方法で発表準備を進めていました。

自分が調べた音を認めてもらい、友達が調べてきた音を聴くことで改めて学校の面白さを感じました。

身近な音を集めてみよう！

「学校や校庭にはどんな音があるのかな？」

これは何の音？ (1)

- ・「たまてばこ」から出てくる音を当ててみよう
- ・映像を見てどんな音がするのか表現してみよう

身の回りの音を探しに行こう (2)

- ・大好きに体育館で耳を澄ませてみると……
- ・ブランコでもこぎ方で音が違うね

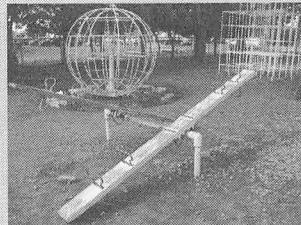
好きな音を発表する準備をしよう (1)

- ・どうやってみんなに聴かせようかな？
- ・好きな理由をしっかりと伝えたいな

「音のびっくりたまてばこ発表会」をしよう (2)

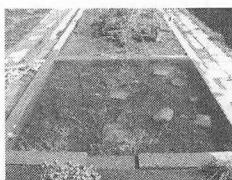
- ・グラウンドのベンチに座るとこんな音がするんだよ
- ・耳を澄ますと草の中から虫の声が聞こえるんだね

子どもの「思いや願い」「気付き」を効果的に広げることをねらいました。諸感覚にダイレクトに働きかけることにより、子どもの思いや願いはさらに広がりを見せます。



公園に音はあるかな？

教材・活動の Point!



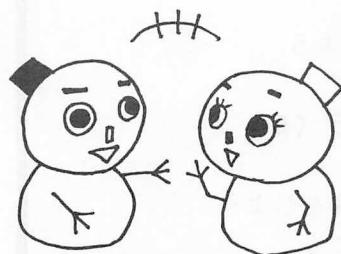
1. 箱から音が出る！？興味・関心を引き出す仕掛け

実際に自然の音を聴かせるだけでは十分な興味・関心を引き出せないと考え、導入で音が出る「たまてばこ」を使いました。箱の中にはラジカセが入っており、ふたを開けると遠隔操作で音が出ます。ふたが開くたびに子どもたちは出てくる音に釘付けとなりました。



2. 無音の映像から音を予想する

テレビに音を入れないで池の中に石を落とした映像を映します。子どもたちに「どんな音がすると思う？」と投げかけると「ジャポン」「ドボン」など子どもによって実際に様々な表現をします。交流を続ける中で、「本当はどんな音なのか確かめたい！」との思いを抱き、子どもたちは校庭の池に石を投げに行きました。



3. 学校のおもしろさを再発見できる交流会

単元の終わりには、自分が探した「こだわりの音」の発表会をします。「同じブランコでもこぎ方によって音が違ったよ」「校庭の木の下では涼しい音がしたよ」などと交流する中で、よく知っていたはずの学校には自分たちがまだ知らない面白さがあることに気付き、もっと学校が好きになるのです。